

局所用ロスナイのご提案



はじめに 3

局所用ロスナイ製品説明

- ・ラインアップ概要 5
- ・仕様 6
- ・訴求ポイント 7
- ・構造説明 8
- ・その他の特長 12

局所の換気機器からの置き換え提案

- ・トイレの場合 14
- ・機器構成・コスト比較 21
- ・電気料金・ライフサイクルコスト比較 22
- ・専用部と共用部のエアバランスの改善 23
- ・病室の場合 25

その他

- ・メンテナンスについて 27
- ・局所用ロスナイの選定および施工時の注意事項 28

建物セグメント

■ 建物イメージ

- ・ 建築物省エネ法で基準適合義務化となる
2,000㎡以上の建物
- ・ 個別分散空調が採用される規模の建物
- ・ ハイスペック設備を備えた高機能オフィスビル



建物セグメント		換気方式	特長	省エネ意識
2万㎡以上	・オフィス ・大規模商業施設(モールなど)	集中	AHUによる全館空調	○
2千~2万㎡	・高機能オフィスビル ・商業施設 ・病院、特養施設	個別分散	ビルマルチ+全熱交換器(廊下/トイレにも空調機を設置)	◎
2千㎡以下	・一般ビル	個別分散	小規模であればスリムエアコン+一般換気扇or全熱交換器	△

COPYRIGHT © 2014 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

建物セグメント

■ 建物の床面積別特長

建物	建物床面積	空調換気方式	フロア全体における トイレの占有面積 (当社調査結果による)	建築物省エネ法 上の措置
オフィス 病院 商業施設など	20,000㎡超	集中 (エアハンドリングユニットなど)	小	2017年4月1日より 基準適合義務化
	5,000超~20,000㎡	個別分散 (ビル用マルチエアコン+全熱交換器など)	構成比約3.6% ^{*1}	同上
	2,000~5,000㎡	個別分散 (ビル用マルチエアコン+全熱交換器など)		同上
	300~2,000㎡未満	個別分散 (ビル用マルチエアコン+全熱交換器など)	大	エネルギー消費量計算の 届出義務あり

■ 建物の床面積別トイレの必要換気量

建物床面積	トイレが所あたり		トイレの必要換気量(5~15回/h ^{*3})	
	床面積	容積(天井高2.6mとする)	5回	15回
5,000㎡	約27㎡ ^{*1}	約70m ³	約350m ³ /h	約1,050m ³ /h
2,000㎡	約11㎡ ^{*2}	約29m ³	約145m ³ /h	約435m ³ /h

※1: エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)の一次エネルギー消費量算定用の事務所モデル建物による

※2: ※1を基に床面積見合いで算出

※3: 建築設備設計基準による

COPYRIGHT © 2014 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

ラインアップ概要

	商品名	形名	標準小売価格	発売予定
本体	局所用ロスナイ	LKY-50RX (500m ³ /h)	¥310,000	2016/5月
部材	専用給気グリル	PKX-20WG	¥42,500	2016/5月
	専用給気グリル (脱臭フィルター付き)	PKX-20DWG	¥69,800	2016/5月



LKY-50RX



PKX-20WG・20DWG

仕様

形名	LKY-50RX												
	単相 100V 50Hz						単相 100V 60Hz						
換気方式	ロスナイ換気			普通換気			ロスナイ換気			普通換気			
ノッチ	特強	強	弱	特強	強	弱	特強	強	弱	特強	強	弱	
電流 (A)	2.87	2.68	1.73	2.88	2.67	1.76	3.14	3.11	1.82	3.17	3.12	1.83	
消費電力 (W)	267	254	165	268	253	168	312	308	174	315	308	175	
風量 (m ³ /h)	SA(給気)	450	450	310	450	450	310	450	450	260	450	450	260
	RA(還気)	500	500	350	500	500	350	500	500	300	500	500	300
機外静圧 (Pa)	SA(給気)	115	95	45	115	95	45	170	120	40	170	120	40
	RA(還気)	140	120	65	140	120	65	210	150	65	210	150	65
温度交換効率 (%)	74	74	78	—	—	—	74	74	79.5	—	—	—	
騒音 (dB)	36	33.5	26	36.5	35	27	36	33.5	25	36.5	35	25.5	
本体吹出口騒音 (dB)	46	44	33.5	45.5	44	33.5	46	44	30	45.5	44	30	
エアフィルター	不織布フィルター (質量法捕集効率 82%)												
質量 (kg)	46												
外装	溶融亜鉛メッキ鋼板												

**【給気9:排気10】にし、排気リッチの風量バランス
⇒厨房における換気のバランス(給気9:排気10)を参考**

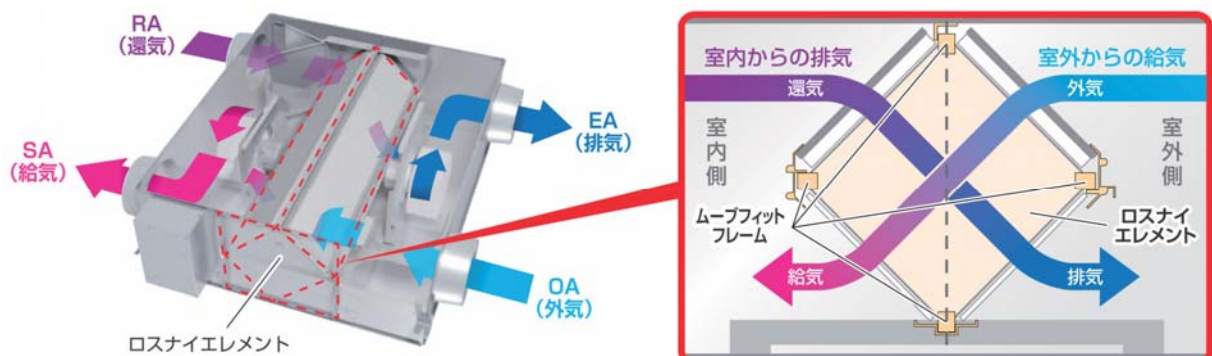
訴求ポイント

- 1 有効換気量率98%の達成と「高気密顕熱エレメント」を採用し、ニオイが気になる場所でも使用可能
- 2 ニオイが気になる場所でも熱交換形換気ユニットを使用する新しい換気設計をご提案
- 3 建物全体の外気負荷を低減し、空調システム全体の省エネ効果を向上
- 4 その他の特長

構造説明

新構造「ムーブフィットフレーム」の採用で有効換気量率平均98%を達成

風路の気密性を保持する新構造「ムーブフィットフレーム」の採用により、有効換気量率を従来品より最大8ポイント向上し、98%を達成。新鮮な外気をより多く居室空間に供給できます。



構造説明

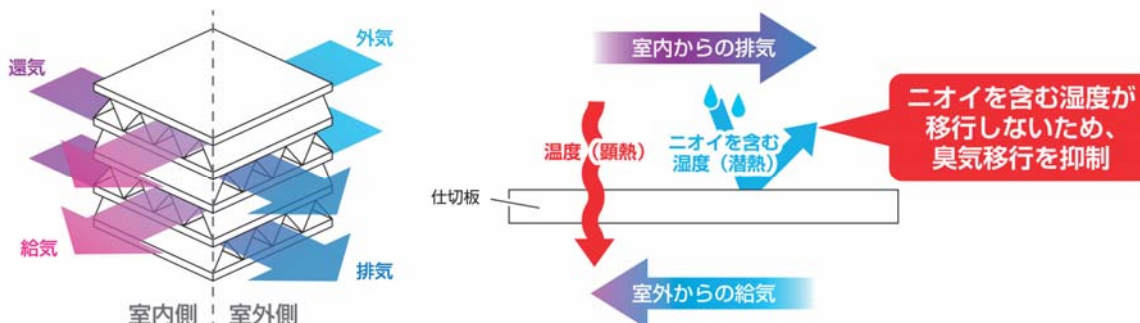
新構造「ムーブフィットフレーム」の採用で有効換気量率平均98%を達成



構造説明

「高気密顕熱エレメント」を採用し、排気から給気へのニオイ移行の原因となる湿度を通さない

ロスナイエレメントに、空気透過量が一般の紙の約3,000分の1と少なく、ニオイ成分が溶け込む湿度を通さない樹脂膜素材を使用した「高気密顕熱エレメント」を採用することで、排気から給気へのニオイの移行を抑制。

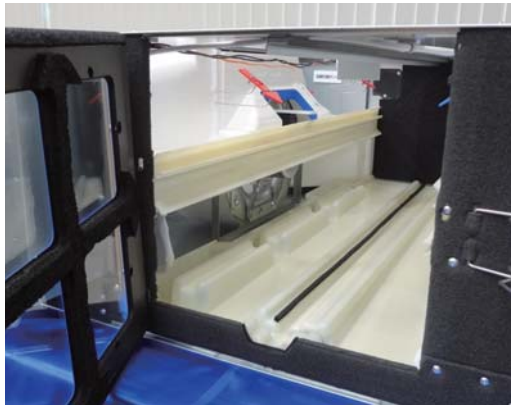


臭気成分の一つであるアンモニア(水溶性)などの湿度交換によるSAへの臭気移行をシャットダウン！

構造説明

「高気密顕熱エレメント」を採用し、排気から給気への二オイ移行の原因となる湿度を通さない

顕熱エレメントを使用しているため、空気条件によってはエレメント内で結露が発生してしまいます。局所用ロスナイは漏水防止のため『ドレンパン』を本体内部に搭載しています。(画像はカットモデル)



【ロスナイエレメント無しの状態】



【ドレン排水口】

その他の特長

集中コントローラによる操作、監視が可能

集中コントローラ(AE-200J)と接続することで、集中コントローラからの操作・監視や換気切替機能、週間スケジュール機能を一か所で設定可能。一般換気扇で集中操作・監視のために必要であった計装工事の手間が必要ありません。

システム構成イメージ



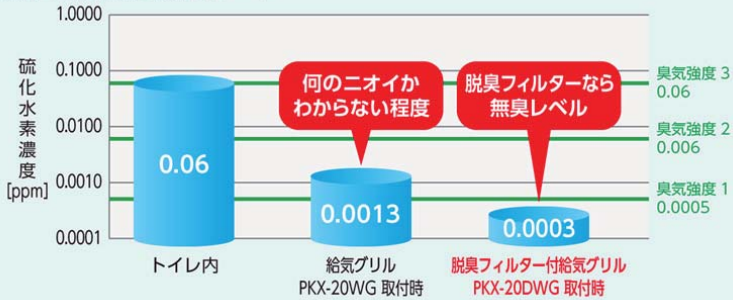
その他の特長

別売「脱臭フィルター付給気グリル(PKX-20DWG)」もご用意

一過性脱臭効率60%の「金属イオン活性炭フィルター」を組み込んだ給気グリルを取り付けることで、さらに給気中の臭気を低減できます。



給気口の臭気物質濃度イメージ



〈試算条件〉

- ・製品:風量は定格(450/500m³/h(給気/排気))、有効換気量率98%
- ・脱臭フィルターの一過性除去効率60%(硫化水素の脱臭効率は約80%)

〈臭気強度の表現〉

0	無臭
1	やっと感知できる臭い(検知閾値濃度)
2	何のにおいであるかわかる弱いにおい(認知閾値濃度)
3	楽に感知できるにおい

※文献 新訂 臭気の嗅覚測定方法 岩崎好陽 著12ページ 社団法人におい・かおり環境学会

トイレの場合 [モデル建物法サンプル]

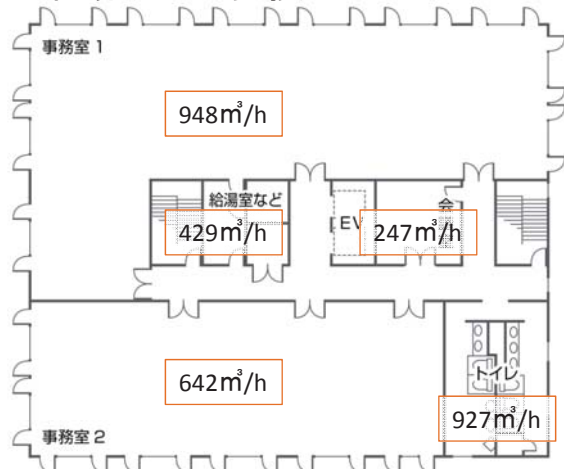
■モデル建物

- ・6階建て3,300m²の事務所ビルを想定
- ・ワンフロア広さ:約550m²、天井高2.6m
必要換気量:1,840m³/h/フロア(事務所)
(茶本基準の0.15人/m²、30m³/人で計算)
- ・トイレ広さ:27m²×2か所/フロア
機械室その他:25m²×1か所/フロア
換気量:建築設備設計基準(茶本)の換気回数10回/hrで計算
→トイレは男女各500m³/h程度、合計1,000m³/h
機械室は500m³/h程度が必要換気量

【その他諸元】

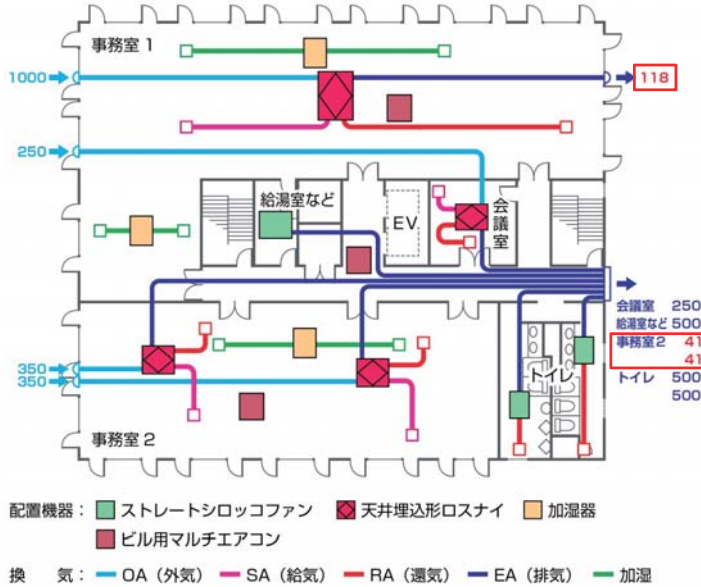
- ・空調機・加湿器は換気負荷分のみを考慮し台数、使用エネルギーを計算(室内発生熱を考慮していないため、実際の台数より少なくなっている)
- ・暖房期750hr(10hr×25日/月×3か月)
冷房期875hr(10hr×25日/月×3.5か月)
残りは中間期として換気動力考慮。
1日空調は14時間(7~21時)稼働し、局所排気は24時間換気前提。

■各場所の必要換気量



トイレの場合 [ロスナイを使おうとすると]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	ビルマル		
換気	業務用ロスナイ (第一種換気)	ストレートシロッコ (第三種換気)	



【概要】

事務室はロスナイで第一種換気、トイレはストレートシロッコで第三種換気。

【問題点】

事務室のロスナイの給排気でアンバランスが起こり、ロスナイが使えないこともあり(排気が給気の40%より少ない)



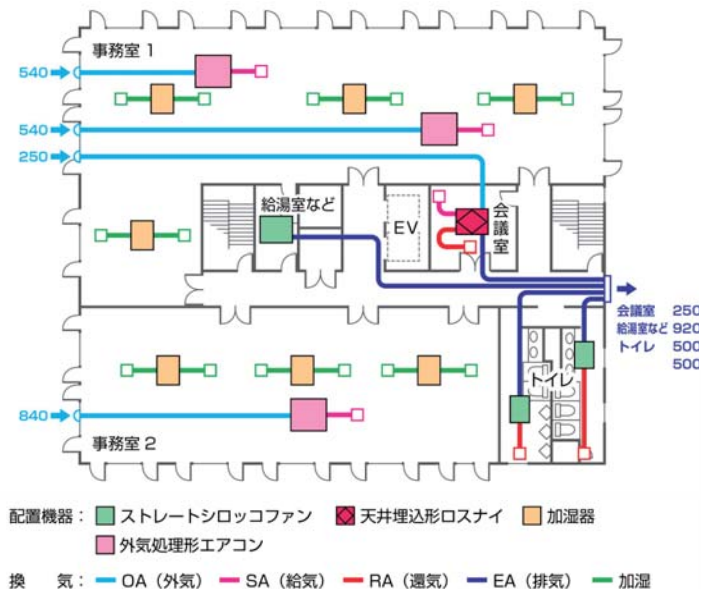
【対応策】

- ①事務室に外気処理エアコン等で給気、トイレ・給湯室から排気
- ②事務室はロスナイ、廊下に外気導入 ⇒ 廊下・トイレのために空調機必要
- ③事務室はロスナイ、廊下に外気処理エアコン等で給気する
- ④ロスナイのEAをカスケード利用して給排のバランスを取る(廊下にEAを配置する)

…など方法あり。

トイレの場合 [従来の換気設計事例①]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	外気処理エアコン (第二種換気)	外気処理エアコン (間接空調)	
換気		ストレートシロッコ (第三種換気)	



【概要】

事務室から外気処理エアコンで給気し、トイレはストレートシロッコで第三種換気。

■ 機器構成 (空調機は換気負荷分のみ)

- 居室: 外気処理エアコン+加湿器
PEFY-P90MG3-F × 2 (事務室1)
PEFY-P112MG3-F × 1 (事務室2)
TKA-2400R₂ × 7 (事務室1、2)
- 廊下・トイレ: ストレートシロッコファン
BFS-50SC × 2 (トイレ)
- 給湯室など: ストレートシロッコファン+ロスナイ
BFS-90SC × 1 (給湯室)
LGH-25RX × 1 (会議室)
- 機器13台合計: 3,556,600円(積算価格)
想定施工費: 1,287,850円(部材費含む)

■ 消費電力量(夏/冬/中間期)

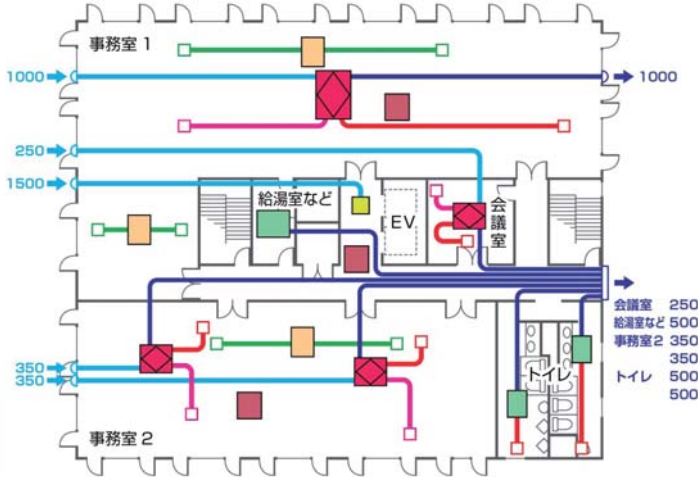
8.7/9.1/2.3 → 合計 20.1 MWh

■ 電力料金

543,309円/年(@電力単価27円/kWh)

トイレの場合 [従来の換気設計事例②]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	ビルマル		
換気	業務用ロスナイ (第一種換気)	バスダクト給気 (生外気)	ストレートシロッコ (第三種換気)



配置機器: ■ ストレートシロッコファン ■ 天井埋込形ロスナイ ■ 加湿器
■ ビル用マルチエアコン ■ バスダクト給気口

換気: — OA (外気) — SA (給気) — RA (還気) — EA (排気) — 加湿

【概要】

事務室はロスナイで第一種換気。トイレはストレートシロッコで第三種換気し、廊下に空調をしバスダクトで生外気を給気。

■ 機器構成 (空調機は換気負荷分のみ)

居室:ビル用マルチ+加湿器+ロスナイ
 PLFY-P36EMG3 × 2 (事務室1、2)
 TKA-2400R₂ × 2 (事務室1、2)
 LGH-100RX × 1 (事務所1)
 LGH-35RX × 2 (事務所2)

廊下・トイレ:ビル用マルチ+ストレートシロッコファン
 PLFY-P71LMG3 × 2 (廊下)
 BFS-50SC × 2 (各トイレ)

給湯室など:ストレートシロッコファン+ロスナイ
 BFS-50SC × 1 (給湯室)
 LGH-25RX × 1 (会議室)

→機器13台合計:2,894,600円(積算価格)
 想定施工費:1,379,015円(部材費含む)

■ 消費電力量(夏/冬/中間期)

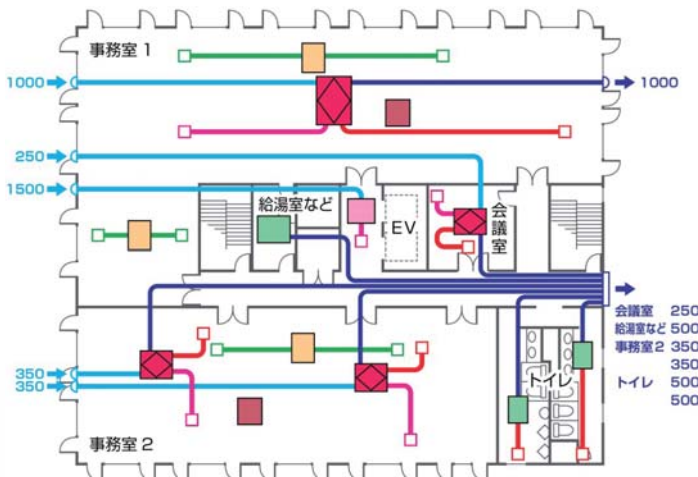
8.5/7.9/2.2 →合計 18.6 MWh

■ 電力料金

501,621円/年(@電力単価27円/kWh)

トイレの場合 [従来の換気設計事例③]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	ビルマル	外気処理エアコン (間接冷暖房)	外気処理エアコン (間接冷暖房)
換気	業務用ロスナイ (第一種換気)	外気処理エアコン (第二種換気)	ストレートシロッコ (第三種換気)



配置機器: ■ ストレートシロッコファン ■ 天井埋込形ロスナイ ■ 加湿器
■ 外気処理形エアコン

換気: — OA (外気) — SA (給気) — RA (還気) — EA (排気) — 加湿

【概要】

事務室はロスナイで第一種換気。トイレはストレートシロッコで第三種換気し、廊下に外気処理エアコンで空調・換気。

■ 機器構成 (空調機は換気負荷分のみ)

居室:ビル用マルチ+加湿器+ロスナイ
 PLFY-P36EMG3 × 2 (事務室1、2)
 TKA-2400R₂ × 2 (事務室1、2)
 LGH-N100RX × 1 (事務所1)
 LGH-N35RX × 2 (事務所2)

廊下・トイレ:外気処理エアコン+ストレートシロッコファン
 PEFY-P224MG3-F × 1 (廊下)
 BFS-50SC × 2 (各トイレ)

給湯室など:ストレートシロッコファン+ロスナイ
 BFS-50SC × 1 (給湯室)
 LGH-25RX × 1 (会議室)

→機器12台合計:3,260,600円(積算価格)
 想定施工費:1,319,365円(部材費含む)

■ 消費電力量(夏/冬/中間期)

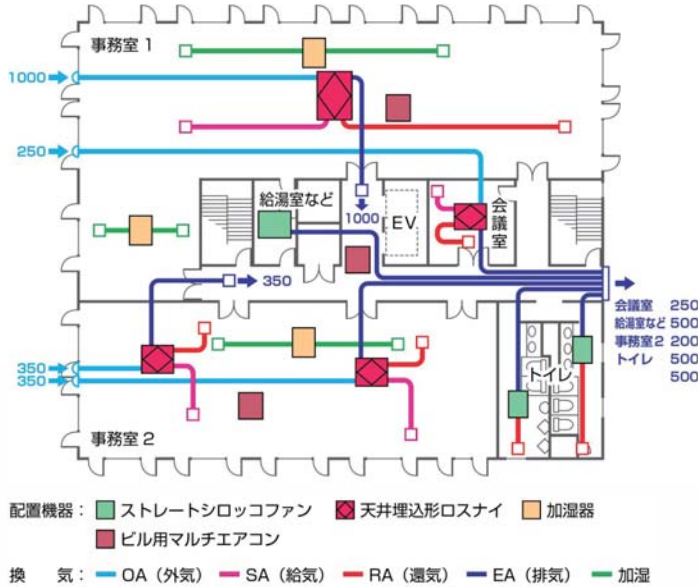
8.5/8.0/22.0 →合計 18.7 MWh

■ 電力料金

504,078円/年(@電力単価27円/kWh)

トイレの場合 [従来の換気設計事例④]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	ビルマル		
換気	業務用ロスナイ (第一種換気)		ストレートシロッコ (第三種換気)



【概要】

事務室はロスナイで第一種換気し、廊下にEAを配置しカスケード利用。トイレはストレートシロッコで第三種換気を行う。

■機器構成 (空調機は換気負荷分のみ)

居室:ビル用マルチ+加湿器+ロスナイ
PLFY-P36EMG3 × 2 (事務室1、2)
TKA-2400R₂ × 5 (事務室1、2)
LGH-N100RX × 1 (事務室1)
LGH-N35RX × 2 (事務室2)

廊下・トイレ:ビル用マルチ+ストレートシロッコファン
PLFY-P71LMG3 × 1 (廊下)
BFS-50SC × 2 (各トイレ)

給湯室など:ストレートシロッコファン+ロスナイ
BFS-50SC × 1 (給湯室)
LGH-25RX × 1 (会議室)

→機器15台合計:3,163,600円(積算価格)
想定施工費:1,509,000円(部材費含む)

■消費電力量(夏/冬/中間期)

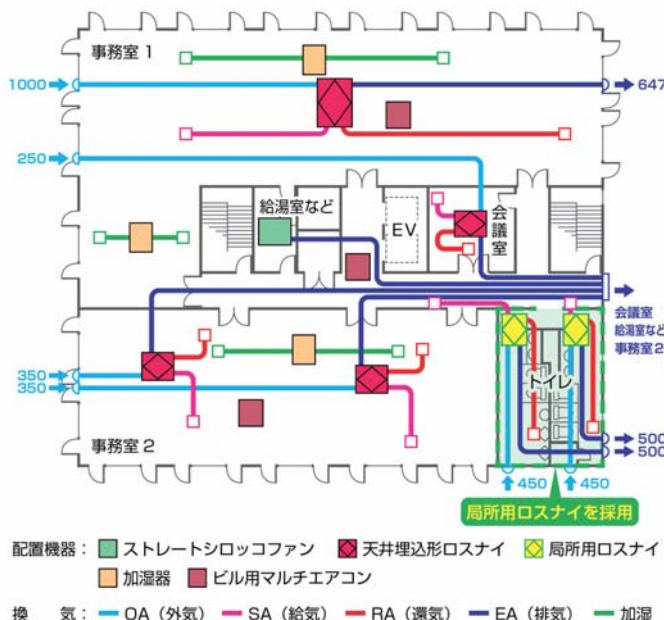
7.1/7.1/2.2 →合計 16.4 MWh

■電力料金

443,811円/年(@電力単価27円/kWh)

トイレの場合 [局所用ロスナイ使用事例]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	ビルマル		
換気	業務用ロスナイ (第一種換気)	局所用ロスナイ (第一種換気)	



【概要】

トイレに局所用ロスナイを使用し、廊下・トイレ空間を第一種換気にする事で事務所でもロスナイの設置が可能。

■機器構成 (空調機は換気負荷分のみ)

居室:ビル用マルチ+加湿器+ロスナイ
PLFY-P36EMG3 × 2 (事務室1、2)
TKA-2400R₂ × 3 (事務室1、2)
LGH-N100RX × 1 (事務室1)
LGH-N35RX × 2 (事務室2)

廊下・トイレ:ビル用マルチ+局所用ロスナイ
PLFY-P80LMG3 × 1 (廊下)
LKY-50RX × 2 (各トイレ)

給湯室など:ストレートシロッコファン+ロスナイ
BFS-50SC × 1 (給湯室)
LGH-25RX × 1 (会議室)

→機器13台合計:3,364,200円(積算価格)
想定施工費:1,413,665円(部材費含む)

■消費電力量(夏/冬/中間期)

5.4/6.8/3.2 →合計 15.5 MWh

■電力料金

418,349円/年(@電力単価27円/kWh)

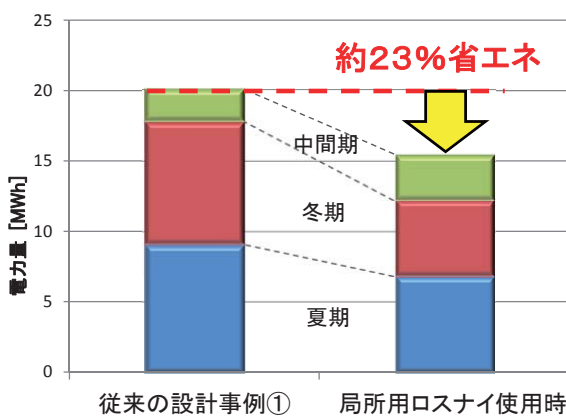
機器構成・コスト比較

	従来の換気設計事例①	従来の換気設計事例②	従来の換気設計事例③	従来の換気設計事例④	局所用ロスナイ使用事例
事務室	【外気処理エアコン】 PEFY-P90MG3-F × 2 PEFY-P112MG3-F × 1 【加湿器】 TKA-2400R ₂ × 7	【空調機】 PLFY-P36EMG3 × 2 【加湿器】 TKA-2400R ₂ × 2 【ロスナイ】 LGH-100RX × 1 LGH-35RX × 2 PGL-100TGS × 2	【空調機】 PLFY-P36EMG3 × 2 【加湿器】 TKA-2400R ₂ × 2 【ロスナイ】 LGH-N100RX × 1 LGH-N35RX × 2 PGL-100TGS × 2	【空調機】 PLFY-P36EMG3 × 2 【加湿器】 TKA-2400R ₂ × 5 【ロスナイ】 LGH-N100RX × 1 LGH-N35RX × 2	【空調機】 PLFY-P36EMG3 × 2 【ロスナイ】 LGH-N100RX × 1 LGH-N35RX × 2 PGL-100TGS × 2 【加湿器】 TKA-2400R ₂ × 3
廊下	なし	【空調機】 PLFY-P71LMG3 × 2	【空調機】 PEFY-P224MG3-F × 1	【空調機】 PLFY-P71LMG3 × 1	【空調機】 PLFY-P80LMG3 × 1
トイレ	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 2	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 2	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 2	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 2	【局所用ロスナイ】 LKY-50RX × 2
給湯室他	【ストレートシロッコファン】 BFS-90SC × 1 【ロスナイ】 LGH-25RX × 1	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 1 【ロスナイ】 LGH-25RX × 1	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 1 【ロスナイ】 LGH-25RX × 1	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 1 【ロスナイ】 LGH-25RX × 1	【ストレートシロッコファン】 BFS-50SC × 1 【ロスナイ】 LGH-25RX × 1
イニシャル	機器代: 3,556,600円 (積算価格) 想定施工費: 1,287,850円 (部材費含む) 合計: 4,844,450円 ⑤	機器代: 2,894,600円 (積算価格) 想定施工費: 1,379,015円 (部材費含む) 合計: 4,273,615円 ①	機器代: 3,260,600円 (積算価格) 想定施工費: 1,319,365円 (部材費含む) 合計: 4,579,965円 ②	機器代: 3,163,600円 (積算価格) 想定施工費: 1,509,000円 (部材費含む) 合計: 4,672,600円 ③	機器代: 3,364,200円 (積算価格) 想定施工費: 1,413,665円 (部材費含む) 合計: 4,777,865円 ④
ランニング	543,309円/年 (@電力単価27円/kW) ⑤	501,621円/年 (@電力単価27円/kW) ③	504,078円/年 (@電力単価27円/kW) ④	443,811円/年 (@電力単価27円/kW) ②	418,349円/年 (@電力単価27円/kW) ①

① … 最も低コスト ⑤ … 最も高コスト

電気料金・ライフサイクルコスト比較

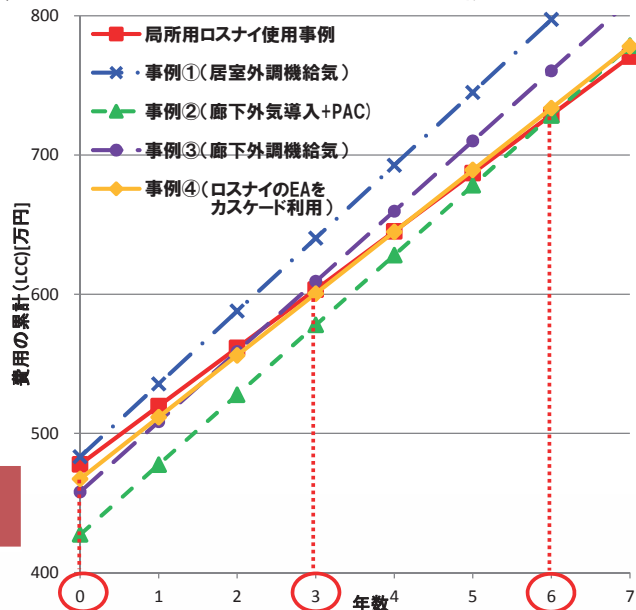
従来例①と局ロス使用例の電力比較



電力料金 543,309円/年 418,349円/年

イニシャルはほとんどイコールでも
年間 約12.5万円の削減効果

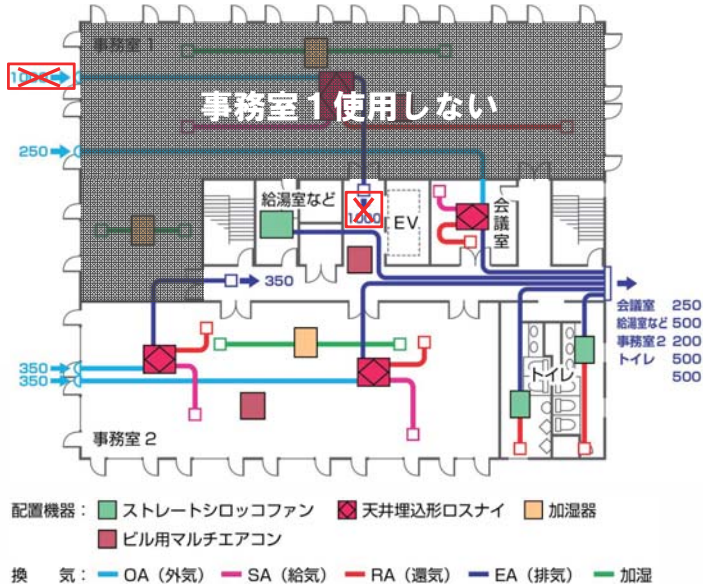
ペイバック・LCCの比較



他の事例でも3~6年程度で費用
回収(ペイバック)が可能

専用部と共用部のエアバランスの改善 [従来の換気設計事例④]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	ビルマル		ビルマル (間接冷暖房)
換気	業務用ロスナイ (第一種換気)		ストレートシロッコ (第三種換気)



【概要】

事務室はロスナイで第一種換気し、廊下にEAを配置しカスケード利用。トイレはストレートシロッコで第三種換気を行う。

【問題点】

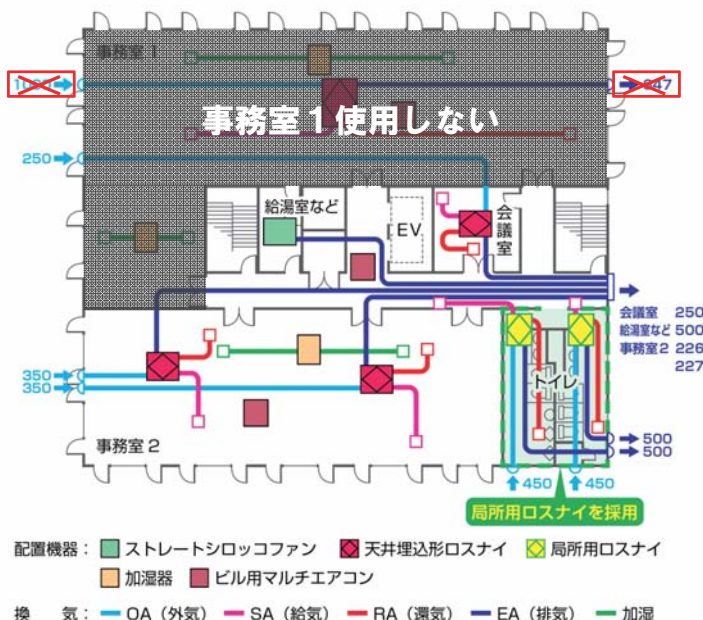
事務室1が使われていない場合、EVホールに配置しているEA分の給気が無く、事務室2からのEA分の給気しかなくなるため、エアバランスが大きく崩れる。

	給気	排気	差
事務室1	1000 ⇒ 0	0	+1000 ⇒ 0
事務室2	700	200	+500
会議室	250	250	0
給湯室など	0	500 [固定]	-500
トイレ	0	1000 [固定]	-1000
合計	1950 ⇒ 950	1950	0 ⇒ -1000

建物内が大きく負圧となり
扉が開きにくい・隙間風など問題に！

専用部と共用部のエアバランスの改善 [局所用ロスナイ使用事例]

	事務室	廊下他	トイレ
空調	ビルマル		ビルマル (間接冷暖房)
換気	業務用ロスナイ (第一種換気)		局所用ロスナイ (第一種換気)



【局所用ロスナイを使えば】

メリット①

専用部の空調・換気機器の運転状態によらず専用部と共有部のエアバランスが成立する。

メリット②

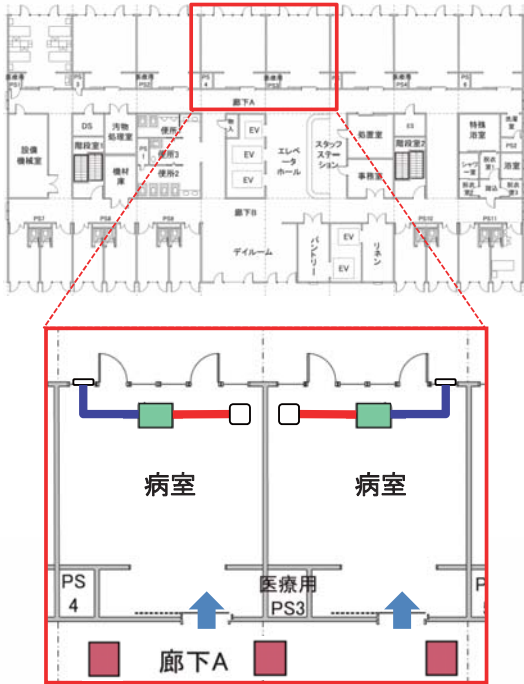
廊下にEAを配置し排気のカスケード利用する必要がなくなり、廊下・トイレの空気質の改善が可能。

メリット③

専用部のCO₂による換気量制御やトイレ換気の人感センサー制御を行ってもバランスが取れて省エネ制御も効果的。

	給気	排気	差
事務室1	1000 ⇒ 0	647 ⇒ 0	+353 ⇒ 0
事務室2	700	453 ⇒ 100	+247 ⇒ +600
会議室	250	250	0
給湯室など	0	500 [固定]	-500
トイレ	900 [固定]	1000 [固定]	-100
合計	2850 ⇒ 1850	2850 ⇒ 1850	0

病室の場合 [従来の換気設計事例]



配置機器: ■ ストレートシロッコファン ■ ビル用マルチエアコン
換気: → RA (還気) → EA (排気)

【概要】

病院個室それぞれよりストレートシロッコで排気。室内負圧状態で廊下より給気。

■ 病院の個室は空調エネルギー大

- ・換気量が多い(2回/hr以上)
- ・空調を通常より長時間・長期間行う。
- ・目標温湿度も通常空間より厳しい
(例:冬期は23°C50%RH推奨)

■ 薬品臭や体臭等のおいがある

一般病室でも※廊下で外気導入
⇒病室で排気する事例もある。

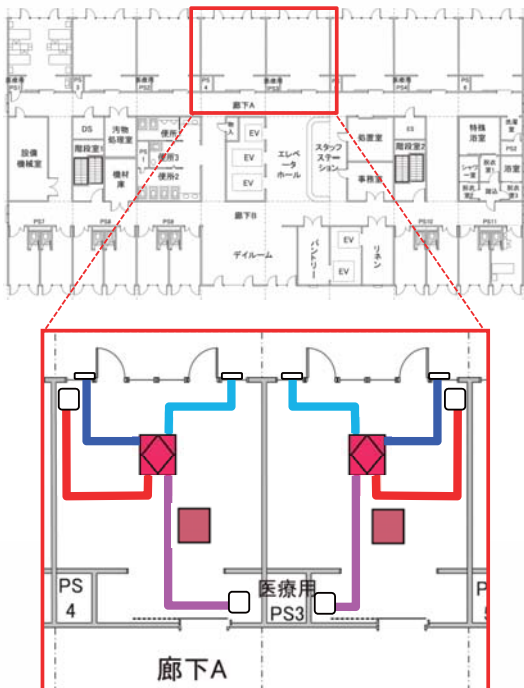
※: 特殊病室では陽圧・陰圧や第三種換気が決められている場所もある。

参考文献: 病院設備設計ガイドライン
HEAS-02-2013
日本医療福祉設備協会発行

COPYRIGHT © 2014 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

25

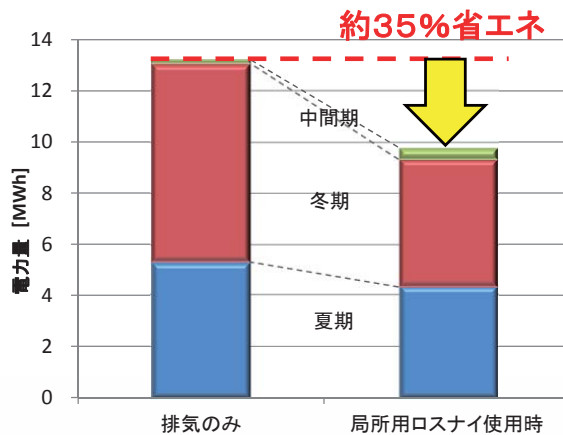
病室の場合 [局所用ロスナイ使用事例]



配置機器: ◆ 天井埋込形ロスナイ ■ ビル用マルチエアコン
換気: → OA (外気) → SA (給気) → RA (還気) → EA (排気)

【概要】

ストレートシロッコ(BFS-50SC)を局所用ロスナイ(第一種換気)に変更し熱回収する。



【試算条件】

広さ: 一般病室(9 × 10.5 × 2.6m)
換気量: 2回/h 500m³/h(18時~6時は350m³/h)
空調期間: 夏・冬4.5か月、中間期3か月、365日 × 24時間
外気条件: 建築設備設計基準(平成25年度版)の東京都外気条件

COPYRIGHT © 2014 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

26

メンテナンスについて

■ メンテナンスの対象と頻度(目安)

エアフィルター …………… 1年に1回以上

(ロスナイコンパクトリモコンの「フィルター清掃」が点滅したとき)

ロスナイエレメント …………… 2年に1回(できるだけ、1年に1回)以上

(汚れの程度に応じて清掃回数は増やしてください)

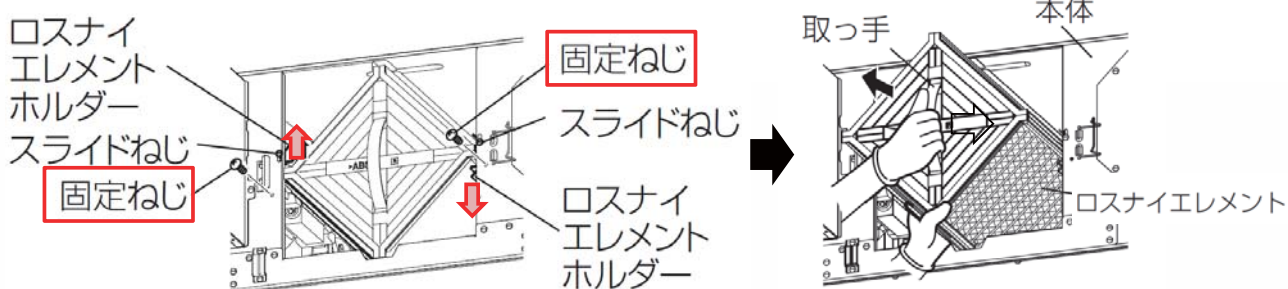
ドレンパン(ロスナイエレメント下部) … ほこりや水が付着(溜まっている)した場合は、やわらかい布で拭いてください

エリミネーター …………… 1年に1回以上

逆止弁付ドレントラップ …………… 1年に1回以上確認し、内部にほこりや汚れがあった場合、内部を清掃してください

■ メンテナンス方法 ⇒ ロスナイエレメントの出し入れに変更あり

【流れ】メンテナンスカバーを開ける ⇒ 固定ネジを取る ⇒ エレメントホルダーを動かす



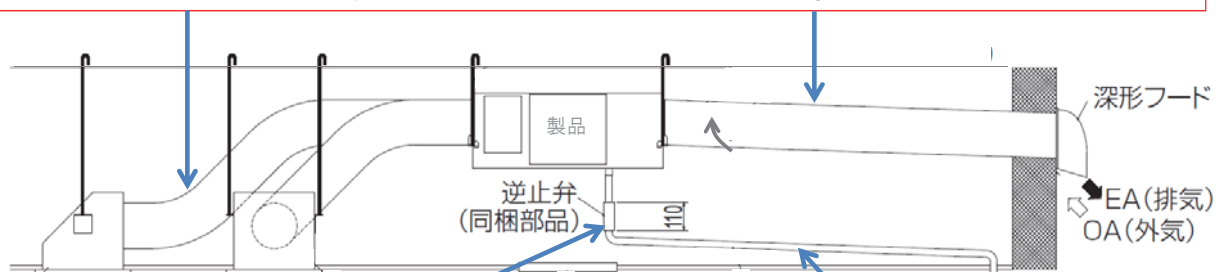
RESERVED 27

局所用ロスナイの選定および施工時の注意事項

①ダクト施工時に**排気側に過大な圧力損失を掛けない**でください。

また**室外側(OA、EA)に圧力損失を掛け過ぎない**でください。

(圧力バランスが崩れ、排気リッチにならなかったり、有効換気量率が悪化します)



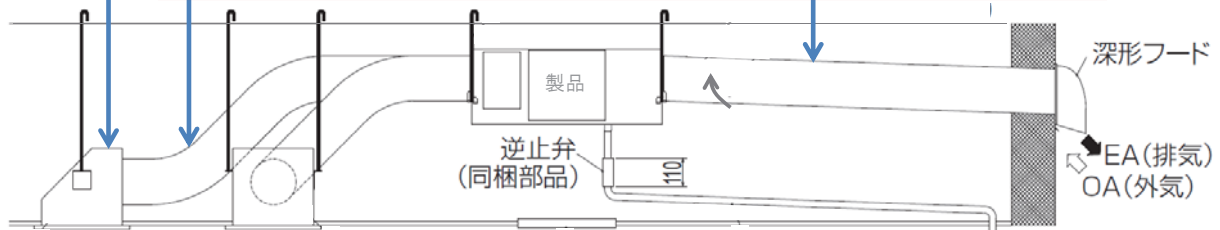
②排水には同梱の**逆止弁付ドレントラップ**を取り付けてください。(結露水排出)

③必ず**ドレン排水管の接続**が必要です。(顕熱エレメントから結露水が出るため)

局所用ロスナイの選定および施工時の注意事項

- ④ **吹出口グリルは必ず専用品(PKX-20WG、もしくはPKX-20DWG)を使用**ください。
(顕熱交換エレメントを使用した場合のSA吹出口の結露対策のため)

- ⑤ **OA(外気)、EA(排気)、SA(給気)のダクトを断熱**してください。
(ダクト表面や内部での結露対策のため)



- ⑥ 対応リモコンは**ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF2)のみ**です。
ジーニアスリモコンは使用できません。またAE-200J接続時でも
微弱風量及びそれに関わる機能(ナイトパーズ、24時間換気等)は使用できません。
(微弱風量は給気と排気の風量がほぼ等しくなり、対象空間が負圧化しないため)



**今後とも三菱業務用送風機を
よろしくごお願い申し上げます。**

